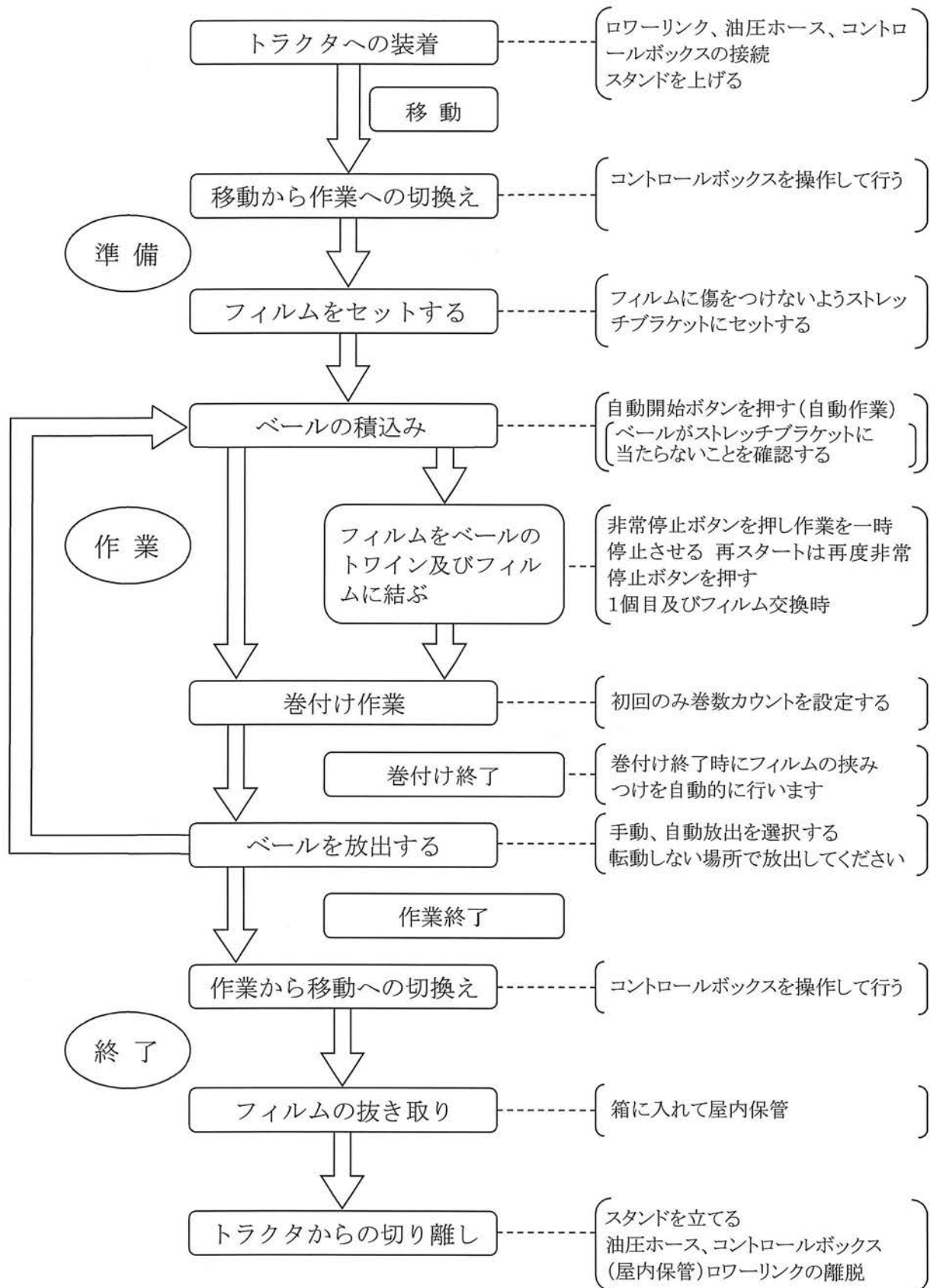


作業方法

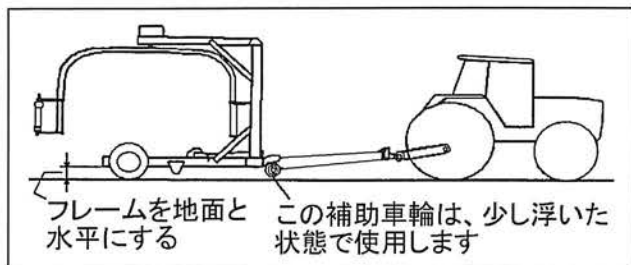
1. 作業手順と要点



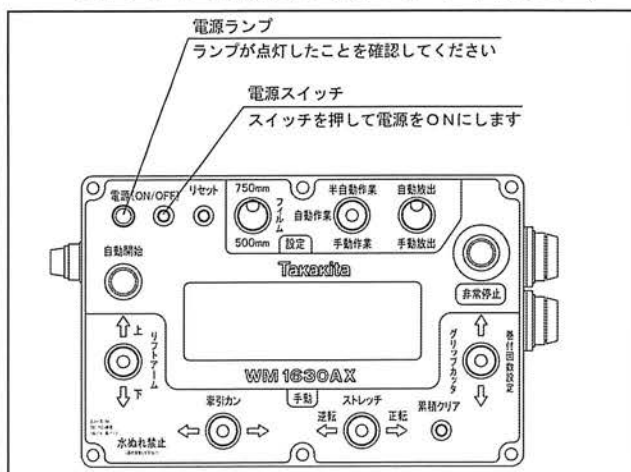
作業方法

2. 移動から作業への切替え

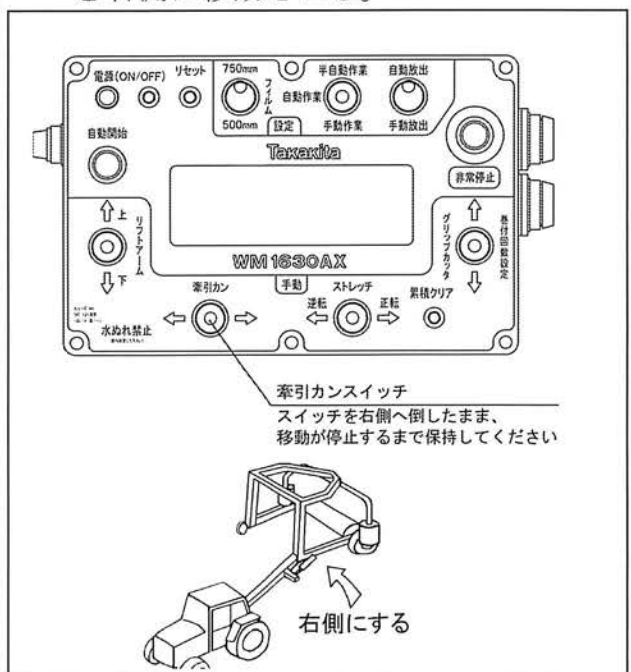
- ①ロワーリンクを操作して、本機を水平にしてください。



- ②コントロールボックスの電源スイッチを押して電源をONにしてください。



- ③トラクタを外部油圧取出しに切替え、コントロールボックスを操作して本機を右側に移動させる。



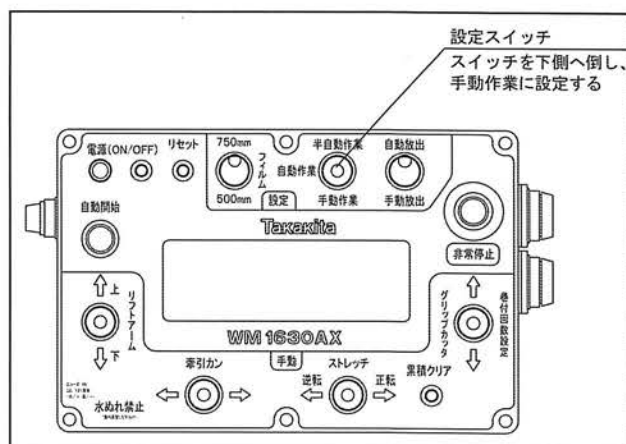
- ④ガードを広げる (18 ページ参照)
- ⑤フィルムをセットする (19 ページ参照)

3. 巻数設定

注意

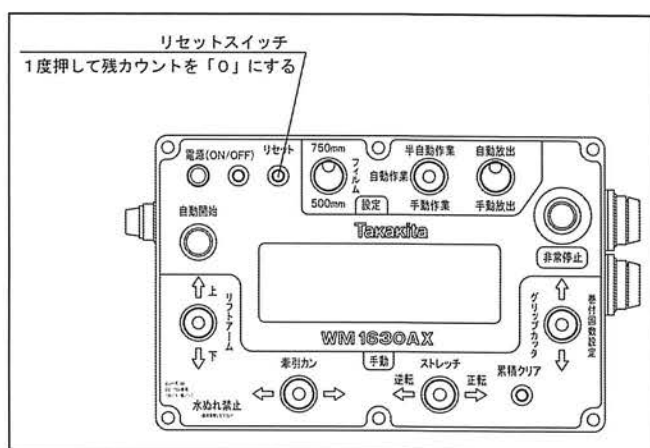
フィルムの巻数設定は、ベールサイズならびにフィルムの重ね数によって異なります。
実際のベールに巻付け、確認してください。

- ①手動作業にする



- ②巻付数のリセット

ベールを積込む前に記憶している残カウントをリセットして「0」にするため、一度コントロールボックスのリセットボタンを押してください。

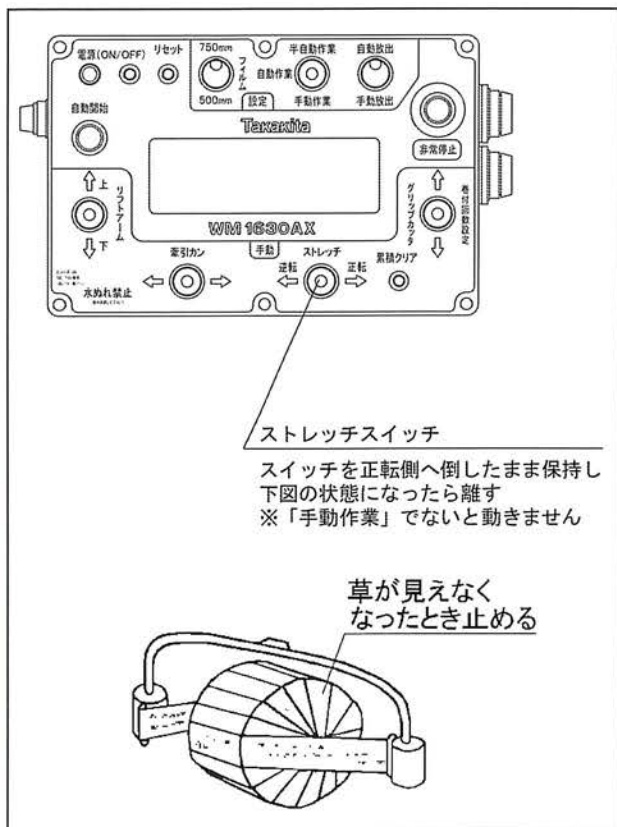


- ③「6. 手動作業」(P31、32) を参照して、ベールを積込んでください。

作業方法

④手動で巻付け

手動でベールの草がフィルムで見えなくなるまで巻付けてください。



⑤④の状態が2重巻きとなります。このときの液晶の最下段の数字を確認してください。

[例]

シュドウモード

セッテイ マクスウ:12 カイ
マクスウ : 8 カイ

最下段の
数字8

⑥設定値の算出

- ⑤で確認した表示窓の数字をもとに、希望する重ね数の設定値を算出してください。

- ⑤の例の場合

重ね数	設定値
2重巻	8
4重巻	16 (8 × 2)
6重巻	24 (8 × 3)

この設定値は本設定 (⑨) するまで忘れないよう記憶願います。

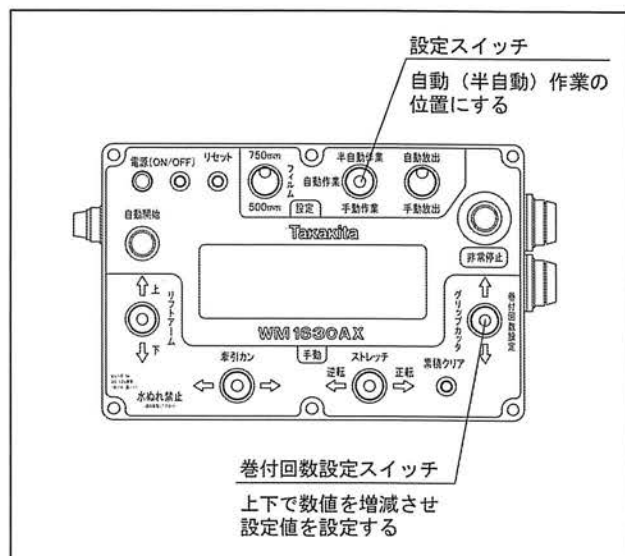
⑦この1個のベールの残り巻付けは、「手動作業」のまま設定値まで巻付け、フィルムのグリップカット及び放出まで行ってください。

(手動作業の使用方法はP31～35を参照してください。)

⑧次のベールを同じ要領で積込みしてください。

⑨本設定

自動(半自動)作業に切替え、巻付回数設定スイッチを上下させて巻き数を⑤で求めた数字に設定してください。



カイシマチ
マクスウ セッテイ カノウ
グリップ ウエ シタ デ セット
セッテイ:8 ルイセキ:3

操作中

セッテイ:24
ルイセキ:3

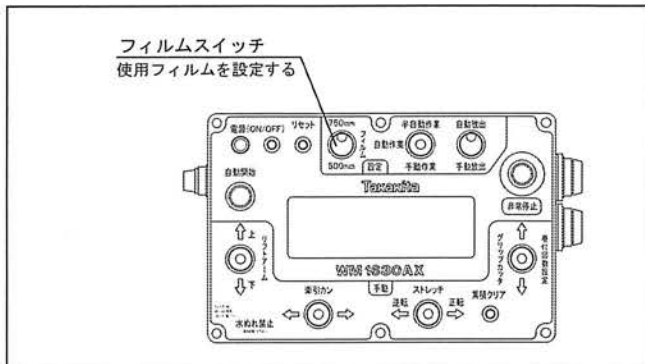
注意

設定可能範囲は8～50です。

作業方法

⑩フィルムサイズ設定

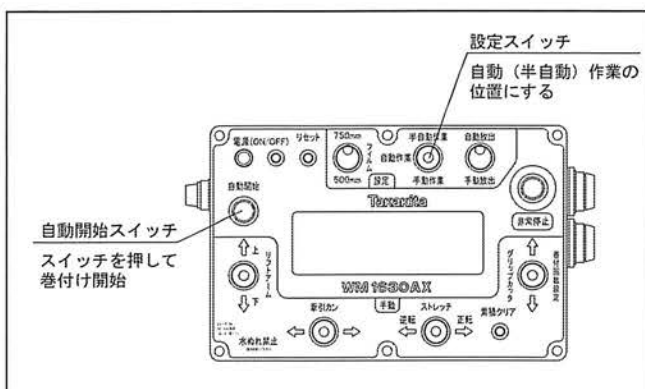
フィルムスイッチを使用するフィルムサイズに設定する。



⑪自動（半自動）作業

自動開始スイッチを押し、自動巻付けする。

このとき、コントロールボックスの表示数字及び本機が「5. 自動（半自動）作業」（P26～29）のように変化し、動くことを確認してください。



注意

- 設定値は、電源を切っても記憶され続けます。
- 従って設定値を変更する場合以外は、再設定の必要はありません。

⑫ベールの放出

「5. 自動（半自動）作業」（P29）を参照してベールを放出してください。

4. 累積ベール表示

自動（半自動）で巻付けたベール数を表示することができます。

①累積表示

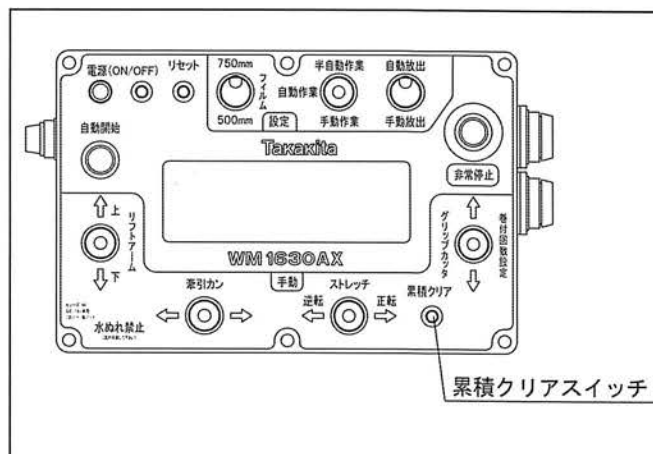
開始待ちの状態にしてください。

作業中の場合はリセットボタンを押し開始待ちの状態にしてください。

②累積数の「0」クリア

累積数は電源を切っても記憶され続けます。

「0」に戻したいときは、自動作業開始待ちの状態に累積クリアスイッチを押してください。



カイシマチ

マクスウ セッテイ カノウ

グリップ ウェ シタ デ セット

セッテイ:24 ルイセキ:0

③自動巻付累積表示

自動開始スイッチを押して巻付け、放出した数を表示します。

注意

- 手動巻付けした場合は、数に加わりません。
- 巻付け途中で非常停止した後、再度巻付スタートした場合は、2度スイッチを押したことになりますが、1個とみなします。

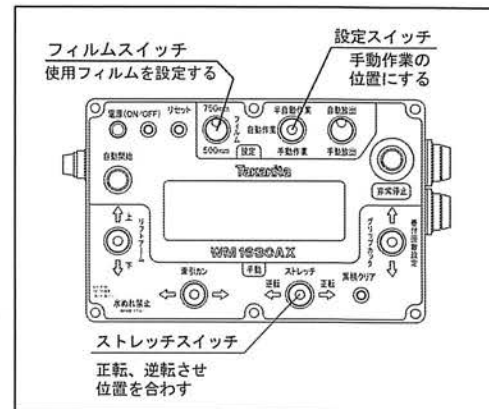
作業方法

5. 自動（半自動）作業

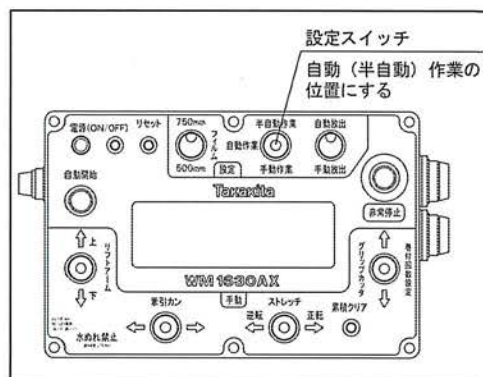
1回目のみ
ストレッチアームを手動操作で
左右にする



使用するフィルムを設定する



設定を自動作業もしくは半自動
作業にする

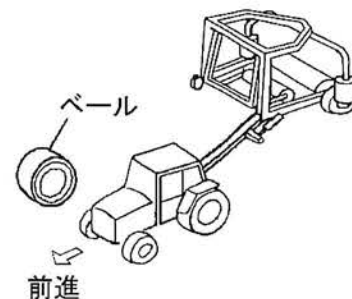


「設定」の自動作業では表示部
は無表示ですが、半自動作業
を選択すると、下図のとおり表示
されます。

ハンジドウモード

ベールに向かって前進する

ベールの積込みは
横方向、右図のよう
に前進する

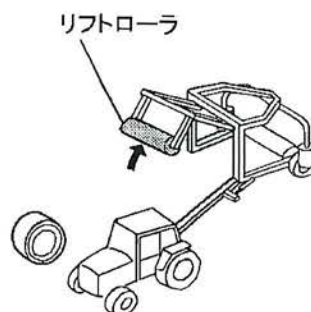


カイシマチ
マクスウ セツテイ カノウ
グリッ プ ウエ シタ デ セツ
セツテイ:24 ルイセキ:0

あらかじめフィルム
巻数設定をしておく
(P23)

作業方法

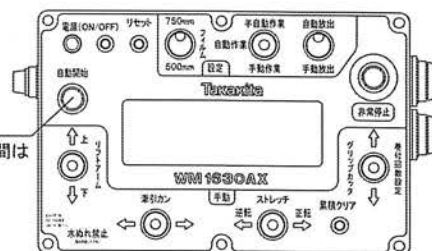
自動作業の場合はベールの手前で自動開始スイッチを押します。
半自動作業の場合はリフトアームスイッチを“上”にして上がりきって停止するまで保持してください。



自動作業

リフト ガ ウゴキマス

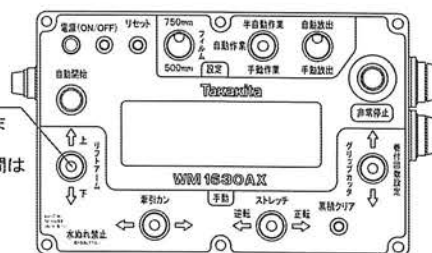
自動開始スイッチを押す
リフトアームが上がっている間は
ブザーが鳴ります



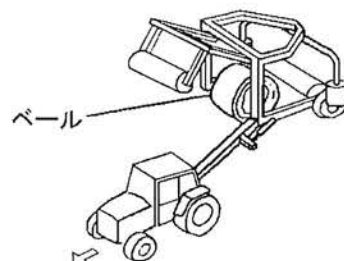
半自動作業

ハンジドウモード
リフト テイイチ
セッテイ:24 ルイセキ:0

リフトアームスイッチ
スイッチを「上」に倒したまま
最大に上がるまで保持する
リフトアームが上がっている間は
ブザーが鳴ります



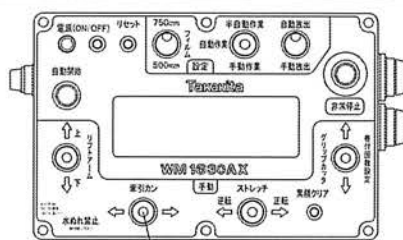
前進してベールを入れます



↑前項に戻る

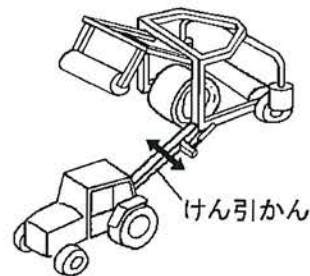
作業方法

ずれたときは「牽引カンスイッチ」を押して修正します。



牽引カンスイッチ

スイッチを右側へ倒したまま、移動が停止するまで保持してください



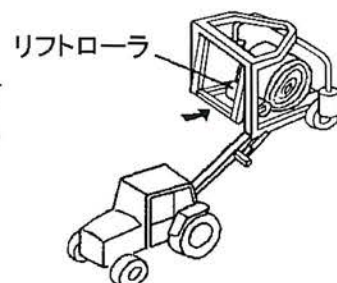
自動作業……ベールを検出しリフトアームが自動で下がりベールを積み込みます。
下がっている間リフトアームスイッチを上にするとその間リフトアームは上がります。ベールがずれて積み込みがうまくいかないときに使用してください。
半自動作業…ベールが最適位置に来たらリフトアームスイッチにて手動で積み込みます。
そのままスイッチを下げの方向で押し続けると、自動的にリフトアームは定位置で停止します。

自動作業

リフト ガ ウゴキマス

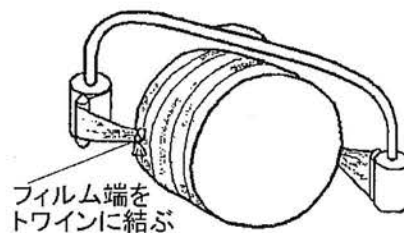
半自動作業では表示されません。

リフトアームが下がっている間はブザーが鳴っています。



1個のみベールのトワインにフィルムを結びつけます。
必ず非常停止ボタンを押し、一時停止させて行ってください。再スタートは再度非常停止ボタンを押します。

※非常停止ボタンを押すと“ピッピッピッ”という音が鳴ります。



警告

取扱いは、トラクタのエンジンを止めて行ってください。

自動作業……巻付けは自動的に開始します。
半自動作業…巻付けはリフトアームが定位置に来たら自動開始ボタンを押します。

↑前項に戻る

作業方法

↑前項に戻る

「ストレッチ アームが動きます」の表示とともに、ストレッチアームが回り始めます。

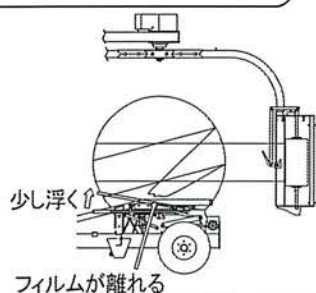
ストレッチ アーム ガ ウゴキマス

フィルム設定
500mm

※自動作業のみ表示されます。

フィルム設定
750mm

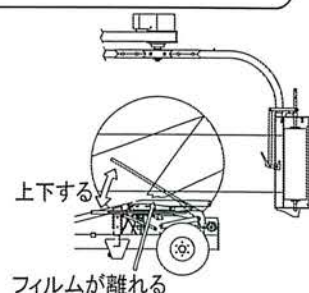
ストレッチアームが1回転後(巻数:1)
からグリップカッタが少し浮き、挟んだ
フィルムを離します。



ラッピング チュウ

セッテイ マキシウ :24 カイ
マキ スウ :2 カイ

ストレッチアームが1回転後(巻数:
1)
からグリップカッタが上下し、挟んだ

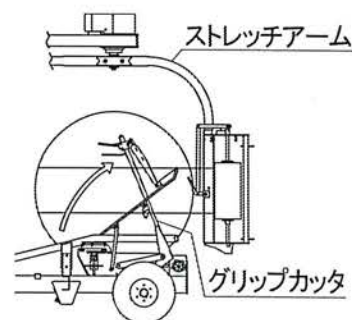


巻数が設定した巻数の1つ前(例:設定値24の
ときは“23”)になったとき、ストレッチアームが低速
回転になります。

ラッピング チュウ

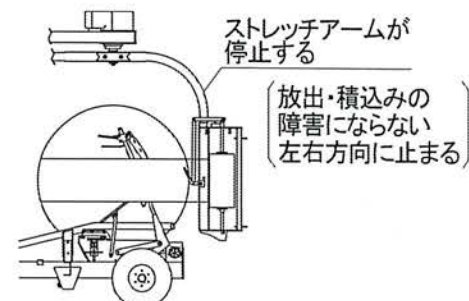
セッテイ マキシウ :24 カイ
マキ スウ :23 カイ

低速回転でストレッチアームが半回転したとき、
グリップカッタが上昇します。



低速回転でさらに半回転した後、ストレッチアーム
が停止します。

〔ストレッチアームは後のペール放出、積込みの
障害にならない位置に自動停止します。〕



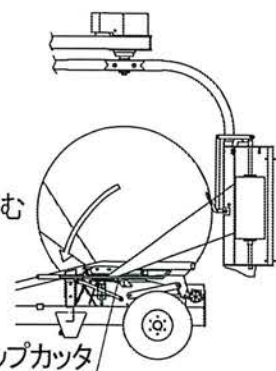
作業方法

↑ 前項に戻る

ストレッチアームの停止と同時にグリップカッターが下降し、フィルムを束ねて挟みつけ、フィルムのベール側をナイフに押さえつけ切断します。

フィルムを挟む

グリップカッター



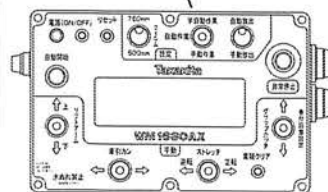
ラッピング シュウリョウ

自動作業……自動的に放出されます。
もしスイッチが手動放出になっていたら自動放出に切替えれば放出されます。
半自動作業……リフトアームスイッチにて放出します。

“自動作業で手動放出状のみの表示”

ベール ホウシュツマチ

放出は自動放出、手動放出の2種類から選べます。



ベール ヲ ホウシュツシマス

手動放出にあればラップ作業後放出待ちの状態でピッピッと音が鳴ります。

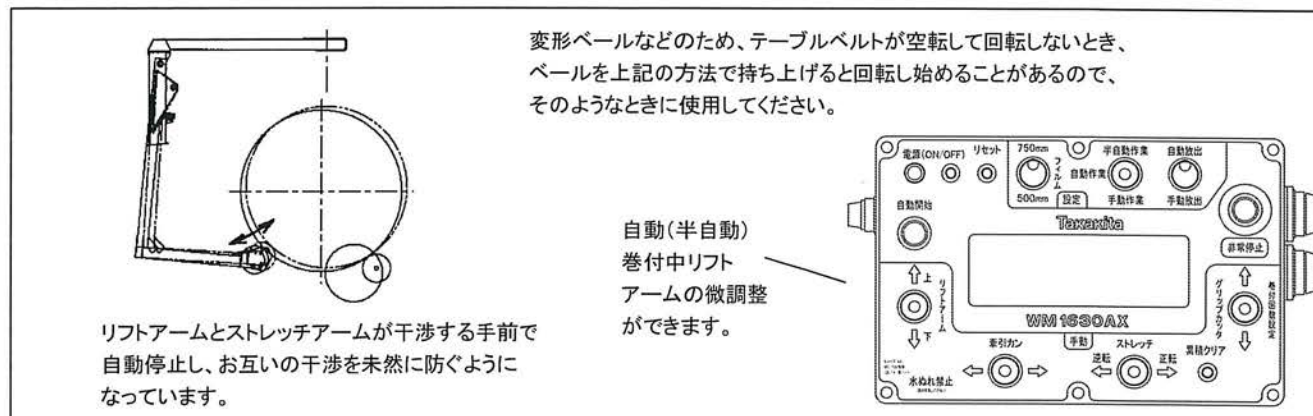
注意

ベールを放出するときは、後方に人がいないことや、障害物のないこと確認してください。
また、転動しない場所で放出してください。

作業方法

③自動（半自動）巻付け中におけるリフトアームの微調整

自動（半自動）巻付け中にリフトアーム上下のスイッチを押すとリフトアーム停止位置の微調整ができます。



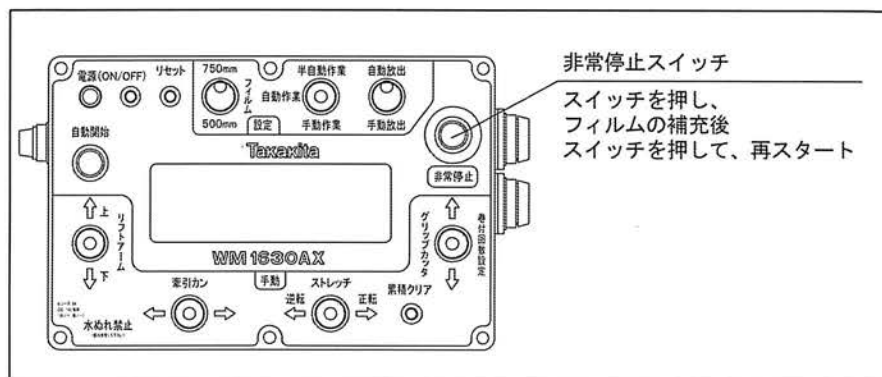
④巻付け中にフィルムがなくなったり、切れたりした場合

すぐに非常停止スイッチを押し、回転を止めてください。

フィルムの補充を行った後、再度非常停止ボタンを押して再スタートしてください。

（停止中は音が鳴り続けています。）

非常停止ボタンを押して再スタートすると、残りを通常通り自動巻付けします。



注意

●正確な巻付けにするため、できるだけ早く非常停止スイッチを押してください。

④自動巻付累積表示

自動（半自動）作業にて作業を行った数量のみ表示します。

自動開始待ちの状態にすると累積数が表示されます。（自動作業中はリセットボタンを押してください。）

（表示例）

カイシマチ
マクスウ セッテイ カノウ
グリッブ ウエ シタ デ セット
セッテイ:24 ルイセキ:3

注意

●手動巻付けした場合は、数に加わりません。

巻付け途中で非常停止した後、再度スタートした場合はカウントされます。

作業方法

6. 手動作業

手動作業位置にする。

1回目のみ
ストレッチアームを手動操作
で左右にする

ベールに向かって前進する

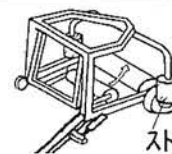
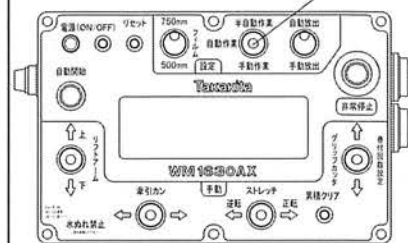
ベールの手前でリフトローラ
を上げる

ストレッチアームが左右に
あること（確認・修正）

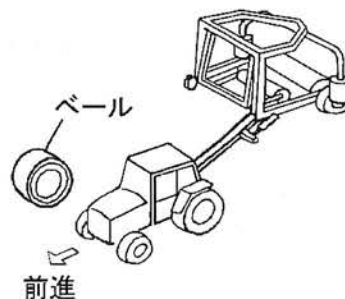
リフトアームスイッチ
スイッチを「上」に倒したまま
最大に上がるまで保持する
リフトアームが上がっている間は
ブザーが鳴ります

設定スイッチ

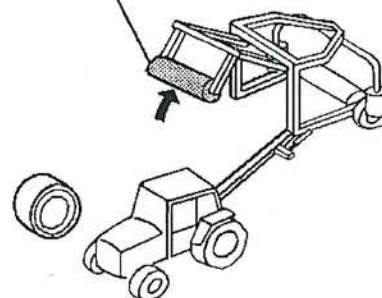
スイッチを下側へ倒し、
手動作業に設定する



ストレッチフレームは
左右に持ってくる



リフトローラ



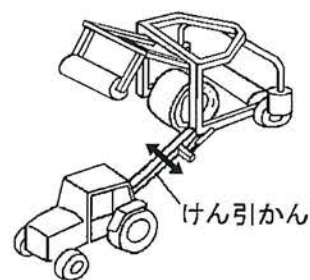
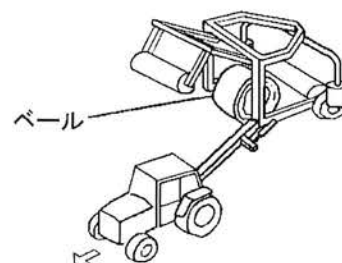
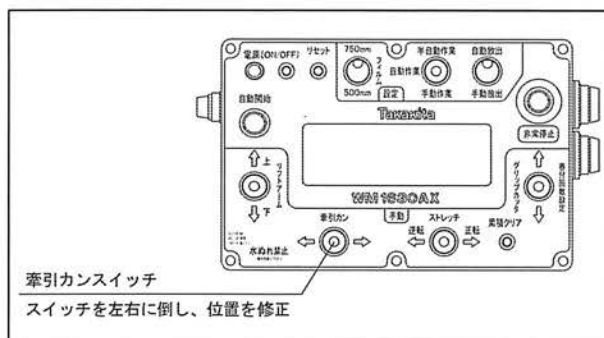
次ページ

作業方法

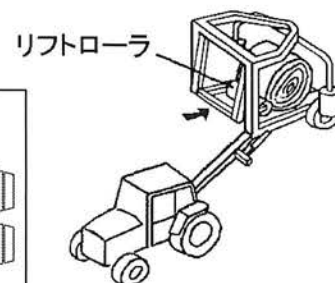
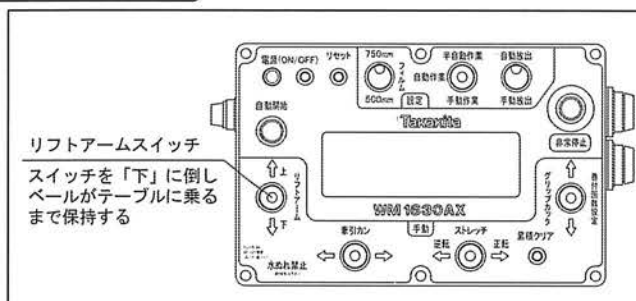
↑ 前項に戻る

前進してベールを入れる

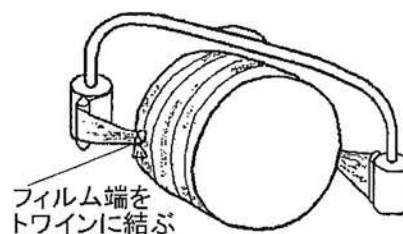
ずれたときは「牽引カンスイッチ」を倒して修正する



リフトローラで積込みする



1個目のみ
ベールのトワインにフィルムを
結ぶ



警告

取扱いは、トラクタのエンジンを止めて
行ってください。

↓ 次ページ

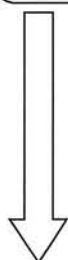
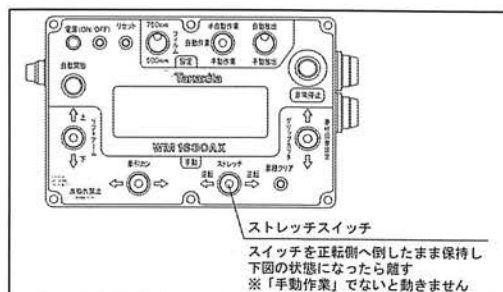
作業方法



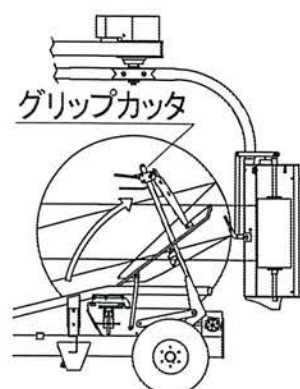
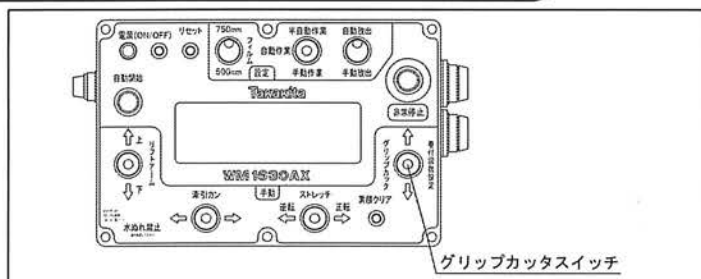
ストレッチスイッチを正転側に倒し、巻数が3~4になるまでストレッチアームを回転させ、ストレッチアームがほぼ前後の位置で止めてください

注意

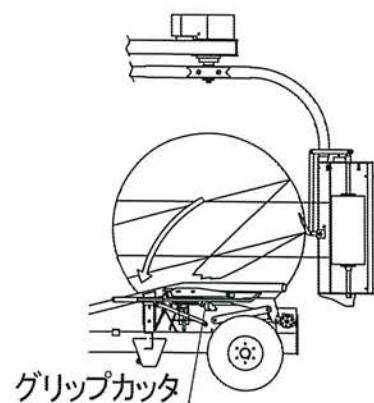
手動作業のときはリフトローラがどこの位置にあってもストレッチが回転しますのでアームと接触しないようにしてください。



グリップカッタスイッチを「上」に倒し、グリップカッタを最大まで上げて、つかんでいるフィルムを離してください



グリップカッタスイッチを「下」に倒し、グリップカッタを最も下がるまで下にさげます。

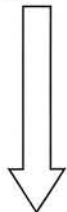
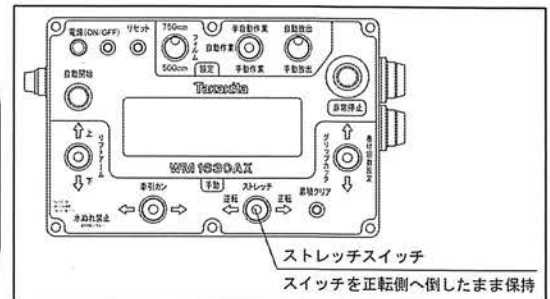


↓ 次ページ

作業方法



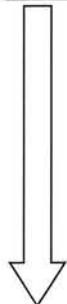
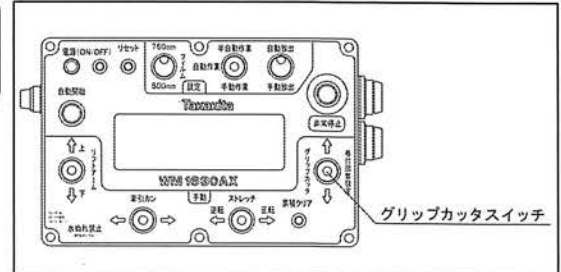
ストレッチスイッチを「正転」に倒して保持し、ストレッチアームを設定巻数の1回転前まで回転させ、ストレッチアームがほぼ前後の位置で止めてください



シュドウ モード

セッテイ マクスウ:24 カイ
マクスウ :23 カイ

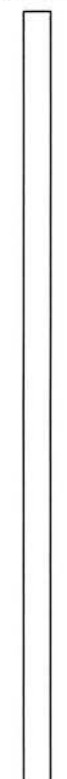
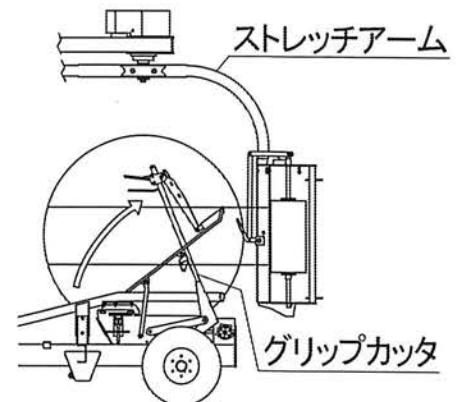
グリッパッパスイッチを「上」に倒し、グリッパッパを最大まで上げてください



シュドウ モード

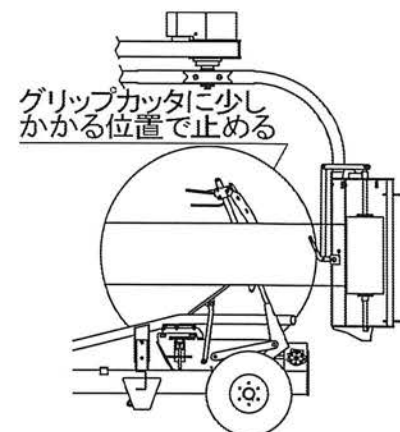
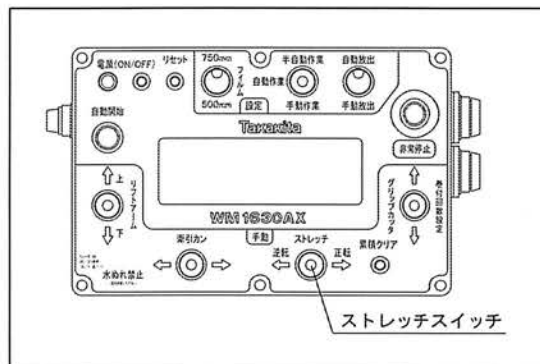
セッテイ マクスウ:24 カイ
マクスウ :23 カイ

グリッパッパスイッチを「正転」に倒して、フィルムがグリッパッパにかかるまでストレッチアームを回転させてください



シュドウ モード

セッテイ マクスウ:24 カイ
マクスウ :24 カイ



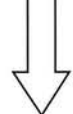
作業方法



グリップカッタスイッチを「下」に倒し、グリップカッタを最も下げてください

シュドウ モード

セッテイ マクスウ:24 カイ
マクスウ :24 カイ



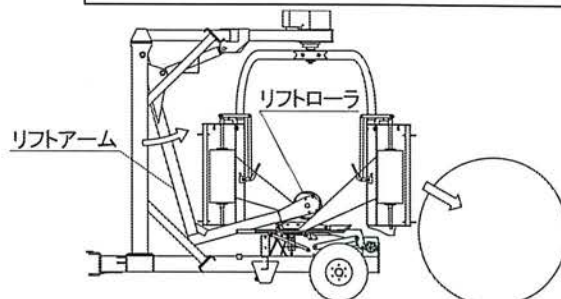
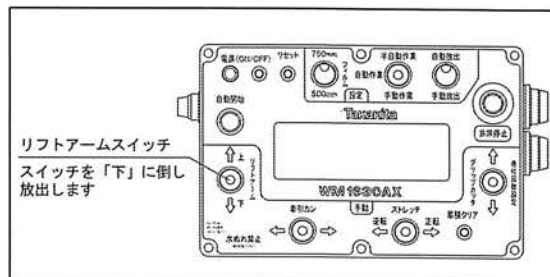
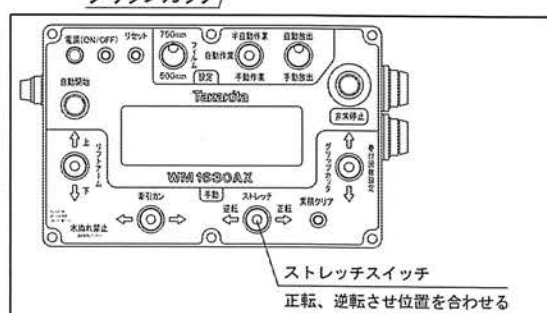
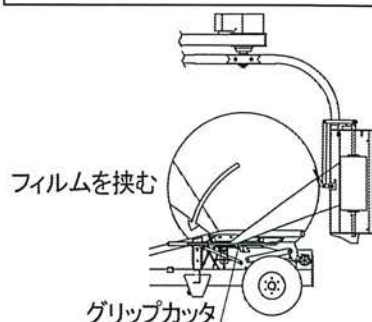
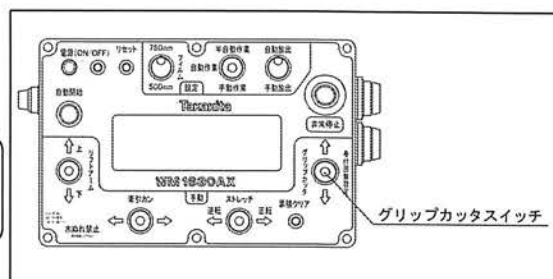
「放出」「積み込み」の障害にならない位置にストレッチアームがあることを確認してください
もし障害になる場合は、ストレッチアームスイッチを正逆させ、位置修正をしてください



この場合は、「ストレッチアーム」レバー正逆で位置合わせをしてください。

放 出

※ボール放出後は一度 自動、半自動作業にスイッチを倒して表示をクリアしてください。
(手動作業では放出を認識できません。)



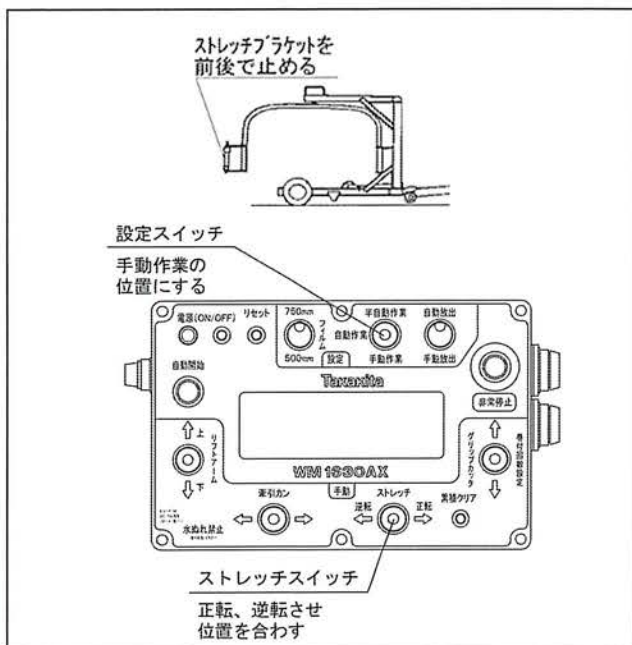
⚠ 注意

ボールを放出するときは、後方に人がいないことや、障害物のないことを確認してください。
また、転動しない場所で放出してください。

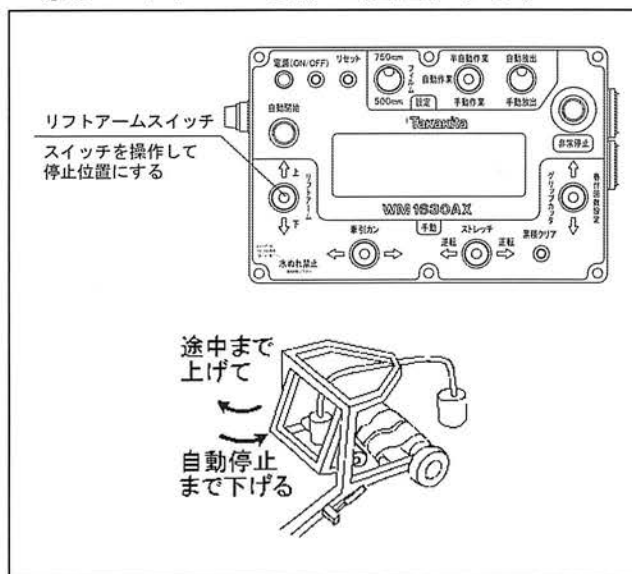
作業方法

7. 作業から移動への切替え

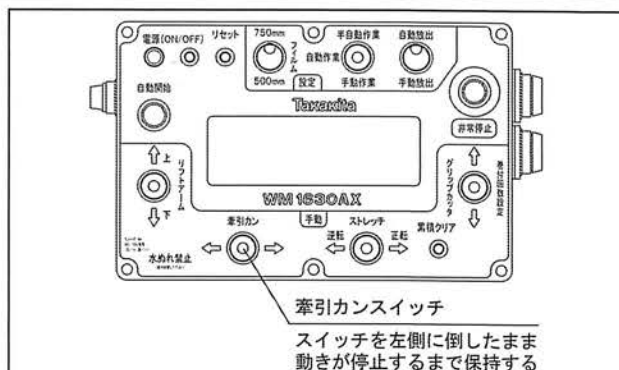
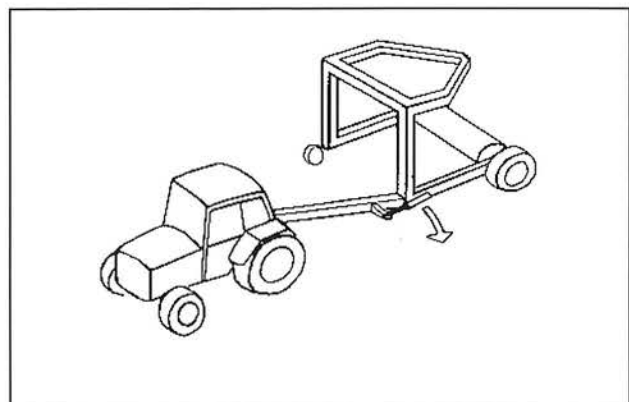
- ①ストレッチブラケットをほぼ前後の位置にしてください。



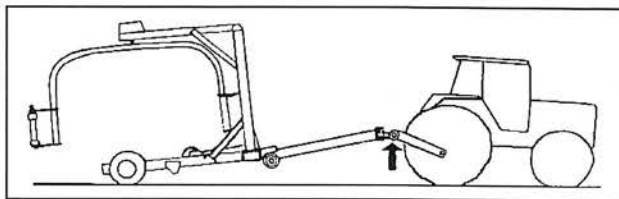
- ②リフトアームを停止位置にする。



- ③本機を左側に移動させ、トラクタの真後ろにします。



- ④ガードをたたむ (P 18 ページ参照)
⑤ロワーリンクを最大まで上げる。



注意

ロワーリンクを上げるためには、トラクタの外部油圧取出し状態を解除する必要があります。

8. フィルムの取外し

フィルムの取外しは、「フィルムの取付けのしかた」(P 19～20)の項を参照して、その逆手順で行ってください。

注意

- 作業終了後は必ずフィルムを取外し、段ボール箱などに入れ、中で動かないような処置をしてください。
 - 本機けん引かん上部の収納ボックスに、8箱のフィルムを収納することができます。
- ※フィルムは必ず箱に入れ、収納ボックスに収納してください。

警告

- ①本機を装着しての運転は、道路及び周辺の条件に適した速度で行ってください。
- ②カーブを曲がる時は、重心の変化や機械の幅に十分注意してください。

作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。作業前の点検は、欠かさず行ってください。

警告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
- 点検・整備をするときは油圧を切り、必ずエンジンを停止させ、回転部が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項 目	内 容	参照 ページ	チェック
1	コントロールボックスの電源	電源ランプ確認	14	
2	テーブルローラ関係への草の巻付き	巻付いた草を除去する		
3	ローラベルトに傷はないか	傷があれば新品と交換		
4	フィルム切断ナイフ	破損しているときは新品と交換	19	
5	タイヤの空気圧	不足のときは空気補充	39	
6	予備シェアボルト	不足のときは補充	38	
7	ゴムロールへのゴミ・ノリの付着	灯油で取り除く		
8	各部のボルト・ナット	ゆるみ、がたつきがあれば増締めする		
9	その他各部の注油・グリス	「各部への注油・グリスアップ」参照	40	

以上について異常が認められない場合は、エンジン回転速度を低速にし、負荷をかけず、3～5分間ならし運転を行ってから作業を始めてください。

点 検 メ モ

簡単な手入れと処置

警告

- ①各部の調整をするときは油圧を切り、エンジンを停止させて回転が止まってから行ってください。
- ②取外したカバー類は、必ず取付けしてください。

1. シェアボルトの交換

◆シェアボルト式安全装置を装備

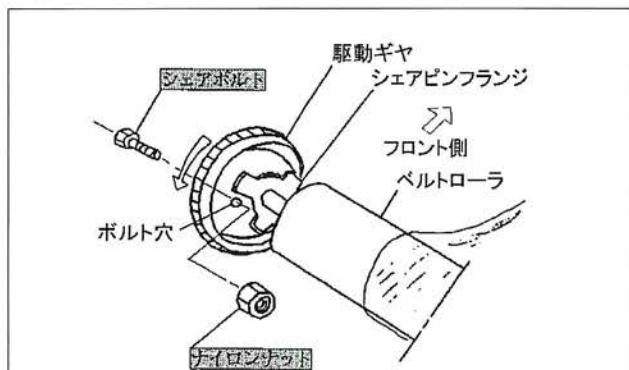
ベルトローラ（後）、駆動ギヤに過負荷がかかったときボルトがせん断され、本機の損傷を防止します。

◆シェアボルトのサイズ

ボルト M8×35 (8T) 半ネジ
 ナイロンナット M8
 (カバーの中に予備が4セット入っています)

◆シェアボルトの交換

- ①カバーを外す
- ②せん断させたボルトを除去する
- ③コントロールバルブレバーでストレッチアームを回すことで、駆動ギヤを回し、ボルト穴が通る位置にしてください。
- ④外側からボルトを入れ、ナイロンナットで締付けしてください。
- ⑤カバーを取付けてください。



注意

シェアボルトは、上記指定のボルト以外は絶対に使用しないでください。

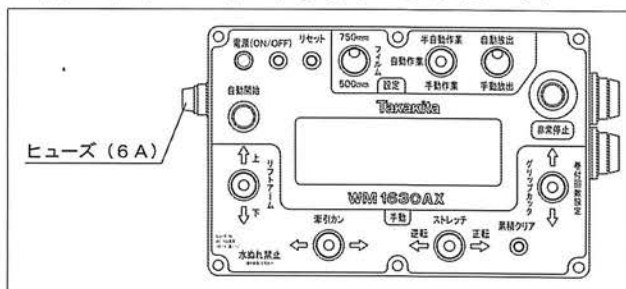
2. ヒューズの交換

電源が入らない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。点検し、切れていれば交換してください。

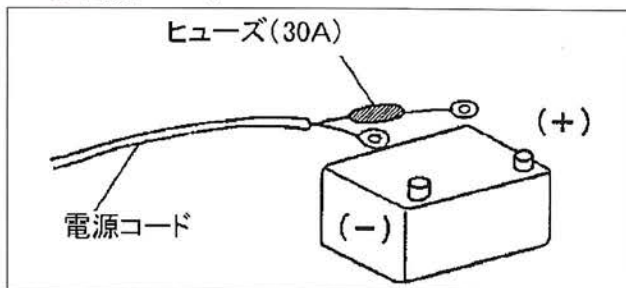
〔 予備ヒューズ各 1 ケが付属品箱に入っています。 〕

アンペアを確認し使用してください。

●コントロールボックスのヒューズ

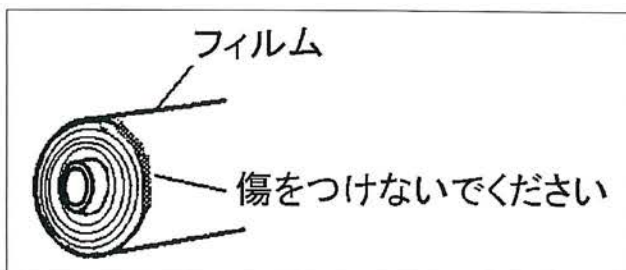


●電源コードのヒューズ



3. フィルムの取扱いについて

- フィルムの表面に傷をつけないようにしてください。特に端面は傷がつきやすく、傷がつくとラッピング中に切れてしまいますので、注意して取扱いしてください。
- 使用後は必ず取外し、乾燥した屋内で保管してください。



注意

フィルムは雨にぬらさないでください。
雨にぬれると紙筒が変形し、抜き取れなくな
ります。

簡単な手入れと処置

4. タイヤの点検・修理

◆装着のタイヤと空気圧

●タイヤサイズ

22×10.00-10 12プライ

●定期的に空気圧を点検してください。

常圧タイヤ内圧 575KPa

(5.75kgf/cm²) 以下

⚠ 警告

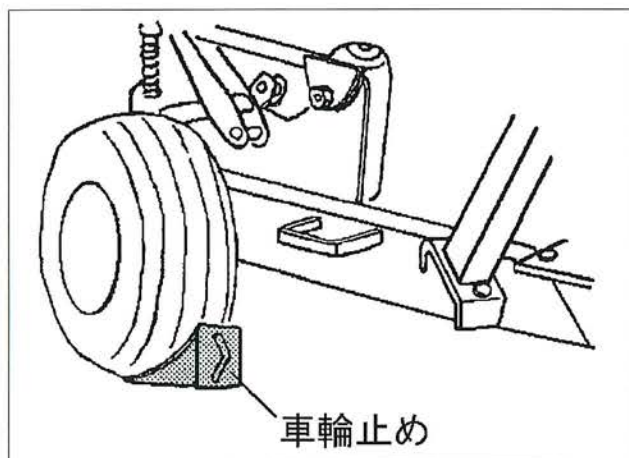
- タイヤに関係する作業を行う場合は、安全な場所に本機を降ろし、必ず車輪止めをしてから行ってください。
- タイヤ及びホイールに関する修理は、十分な設備をもったタイヤショップなどの専門の店舗に依頼してください。

5. 車輪止め

駐車時は、必ず車輪止めでタイヤの歯止めをしてください。また、使用後はフレーム部へ格納してください。

⚠ 警告

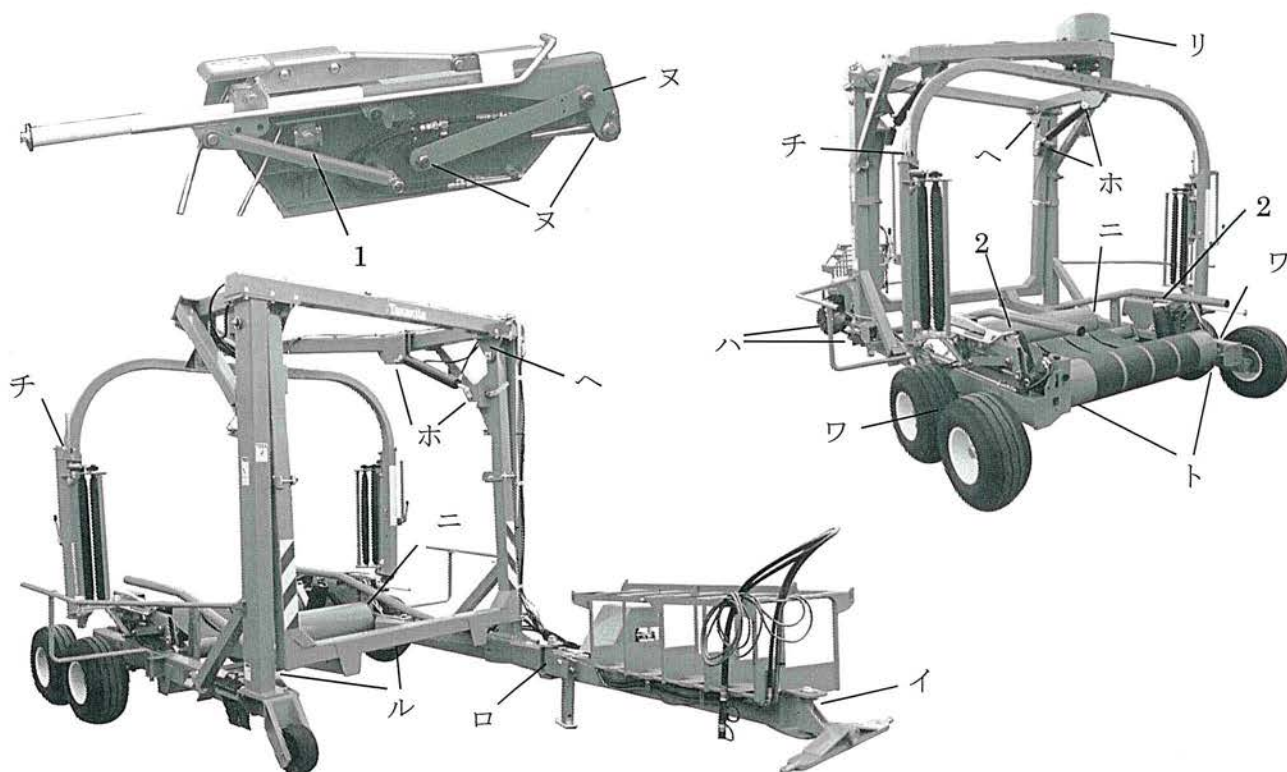
本機をトラクタから切り離れたときも、必ず車輪止めで歯止めをしてください。本機が動き、思わぬ事故の原因になります。



簡単な手入れと処置

6. 各部への注油・グリスアップ

図表に従って各部に注油・グリスアップを行ってください。



番号	場 所	注油時間	番号	場 所	グリスアップ 時間
1	グリップカッタ摺動部 (2ヶ所)	作業前	イ	ヒッチ支点 (2ヶ所)	作業前
			ロ	けん引かん支点	作業前
2	サイドローラ上部 (2ヶ所)	作業前	ハ	けん引かんシリンダ支点 (2ヶ所)	作業前
			ニ	リフトローラベアリング (2ヶ所)	作業前
			ホ	リフトアームシリンダ支点 (4ヶ所)	20時間毎
			ヘ	リフトアーム支点 (2ヶ所)	20時間毎
			ト	ローラ駆動ギヤ部 (カバー内)	20時間毎
				ローラ部ベアリング (2ヶ所)	20時間毎
			チ	フィルム上軸ガイド (2ヶ所)	20時間毎
			リ	ストレッチアーム駆動ギヤ部 (カバー内)	20時間毎
				ストレッチアームベアリング (2ヶ所、上はカバー内)	20時間毎
			ヌ	グリップカッタシリンダ支点 (4ヶ所)	20時間毎
				グリップカッタアーム支点 (2ヶ所)	20時間毎
			ル	スベリコミローラブラケット (2ヶ所)	20時間毎
			ワ	タンデム (2ヶ所) ※WM1630AXW のみ	20時間毎

簡単な手入れと処置

7. 長期格納時の手入れ

- 水洗いして付着した泥やほこりなどを落とし、巻付いた草などを取り除いてください。
- 乾燥後は、各回転・摺動部やチェーン類には十分注意し、錆びないようにしてください。
- 塗装の剥がれた部分には、塗料を塗って錆びないようにしてください。
- 各部のボルト・ナットがゆるんでいないかを確認し、ゆるんでいるときは締めてください。
- 格納するときは、雨やほこりのかからない屋内の平坦な場所で保管してください。

使用上のご注意

つぎの事柄は機械の破損につながりますので、行わないようお願いいたします。

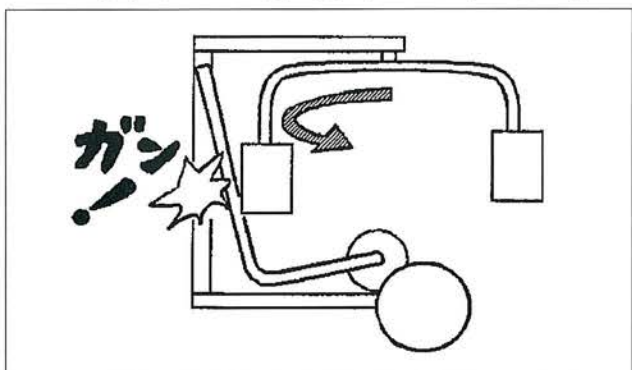
万一、次の事柄を守れずに本機を使用し、破損が生じた場合は、保証の対象となりません。

- ガードをたたんだ状態で、ストレッチアームを回さないでください。



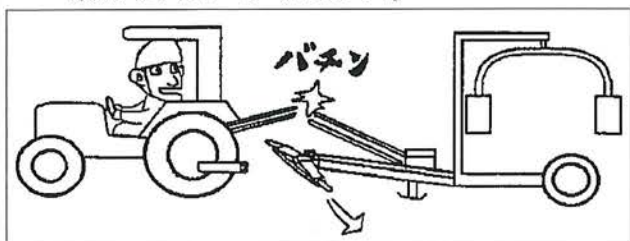
- ・ガードが破損します。

- リフトアームが適正作業位置（自動停止した位置）より後方にあるときは、ストレッチアームを回さないでください。



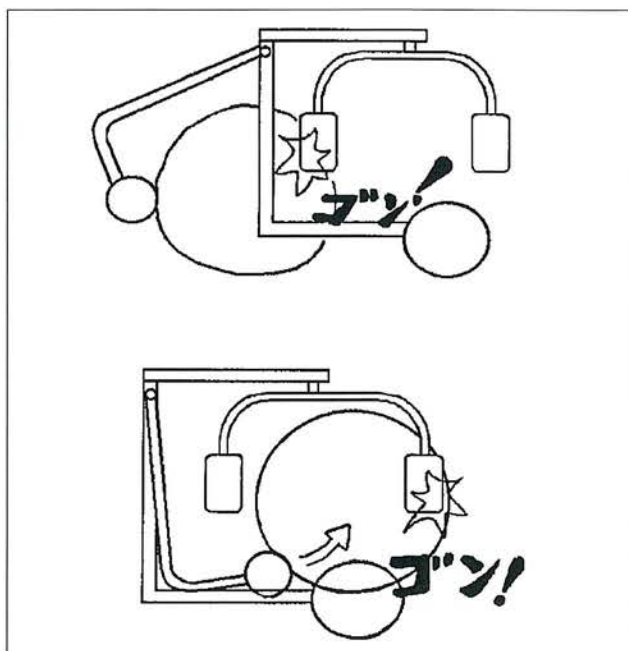
- ・ストレッチブラケットが破損します。
※コントロールボックスで自動および半自動作業しているときは安全装置が働き、ストレッチアームは回りません。

- トラクタに装着しないで、けん引かんを動かさないでください。



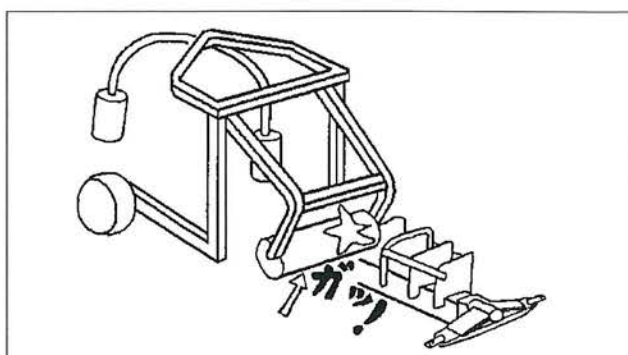
- ・油圧ホースが破損します。

- ストレッチブラケットが前後にあるときは、積込み・放出をしないでください。



- ・ストレッチブラケットが破損します。
※自動で作業しているときは、ストレッチブラケットが適正位置に自動停止します。

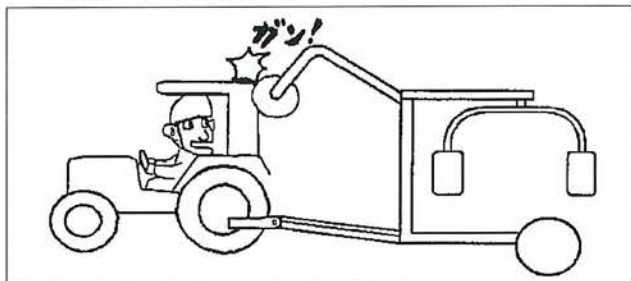
- けん引かんが移動状態にあるときは、リフトローラを上げないでください。



- ・けん引かん及び、その上部の部品が破損します。

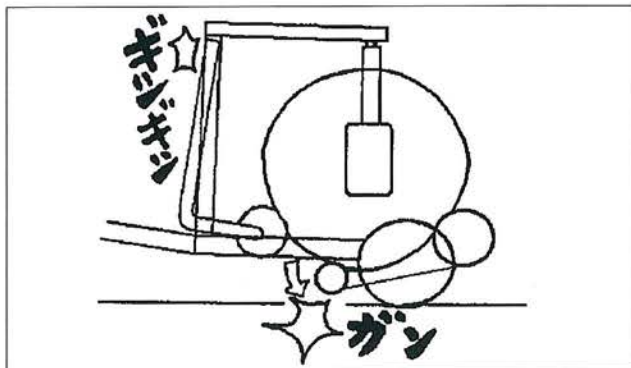
使用上のご注意

- リフトローラを上げた状態で、急旋回しないでください。



- ・リフトローラがトラクタにぶつかることがあります。

- ベールを積んだまま、長距離の移動をしないでください。

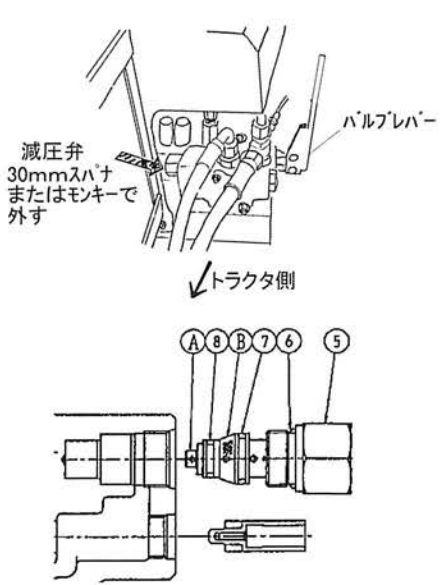


- ・テーブルベルト破損ならびに、各部に無理な力がかかります。

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断		処 置	参 照 ペ ー ジ
●リフトアーム・けん引かん・グリップカッタ・ストレッチアームが ・動かない ・ゆっくりしか動かない	油 圧	バルブレバーを操作しても動かない ●カプラのトラクタへの接続が逆である ●カプラが確実に接続されていない ●カプラのメス・オスが異なっている ●トラクタが外部油圧取出しになっていない ●トラクタの外部油圧取出しレバーが完全に引かれていない ●トラクタの外部油圧オイルが不足している	●OUT、INを入れかえる ●確実に接続する ●合ったものに交換する ●外部油圧に切替える ●レバーを完全に引いて固定する ●規定量まで補充する	— 13 — — — —
	電 気 関 係	コントロールボックスで動かない ●電源が入っていない（電源ランプが点灯していない） ●電源コード及びコントロールボックスコードの接続が外れている ●電源コードの＋－が逆である ●ヒューズが切れている（電源ランプが点灯しない）	●電源を入れる ●コネクタを接続する ●＋は白、－は黒正しく接続する ●電源コード部(30A)交換 コントロールボックス部(6A)交換	14 14 14 38
●コントロールボックスの自動がきかない コントロールボックスの手動でストレッチアームは回る	●自動作業・手動作業の切替えが手動作業になっている		●自動作業側に切替える 自動／手動切替レバーを倒して、自動作業側にする	25
●コントロールボックスの手動でストレッチアーム及びグリップカッタが動かない	●自動作業・手動作業の切替えが自動作業または半自動作業になっている		●手動作業側に切替える 自動／手動切替レバーを倒して、手動作業側にする	31
●コントロールボックスの巻数設定ができない (数字がアップ、ダウンしない)	●自動作業・手動作業の切替えが手動作業または半自動作業になっている		●自動作業側に切替える 注 意 巻付回数設定を設定することで記憶されます	22
●コントロールボックスの累積バール「0」クリアができない	●自動作業・手動作業の切替えが手動作業または半自動作業になっている		●自動作業側に切替える	24
●コントロールボックスの操作が効かない	●コントロールバルブの電気カプラ部での接触不良		●コントロールボックスバルブ上のカバーを外して、コントロールバルブから出ている電気カプラ(4角の17P)を2～3回抜き差しし、再度きっちり差ししてください。	—
●リフトアームが動かない	●けん引かんが作業位置にありません		●コントロールボックスの「牽引カン」レバーを操作してけん引かんを広げてください	—

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ページ
●バルブレバーに圧がかかって中立に戻らない	●コントロールバルブ内に異物(ゴミ)がかみ込んでいる	(1)コントロールバルブの減圧弁を外す  減圧弁 30mmスナ またはモンキーで 外す バルブレバー トラクタ側 減圧弁⑤をゆるめ、取外します。 このとき、減圧弁スプール④を 落とさないよう、またフィルタ ⑥を変形させないよう、また汚 さないよう注意してください (2)バルブレバーを手で押し引きして油 を抜いて圧を取る (3)減圧弁⑤を元の通り、締付けてくだ さい。このときも減圧弁スプール④を 落とさないよう、またフィルタ⑥を変 形させないよう注意してください 以上の処置をしても再度同じ不調 が起こる場合は、トラクタの外部 油圧オイルが汚れています。 全量を交換してください。	—
●フィルムが伸びない または、伸びが一定しない	●フィルムのセットする方向が逆 である ●フィルムがゴムローラを通過して いない	●正しい向きに入換える ●ゴムローラを通し、正しくセットする	19 20
●ラッピング中にフィルムが 切れる ●テーブルローラが回転しない	●フィルムに傷がついている ●シェアボルトが切れている	●傷の部分を取り除く ●シェアボルトを交換する (M8×35 8T 半ネジ)	20 38

この項にしたがって、再度点検されても直らないときには販売店にお問い合わせください。

自動運転時のエラーチェック

WM1630AX センサ位置

①グリップカッタ右
57107-2380-000

②上死点センサ

③定点センサ
76112-2370-002

④フィルム離しセンサ

⑤回転前センサ

⑥回転後センサ

①グリップカッタ左

ペール右
57108-4161-000

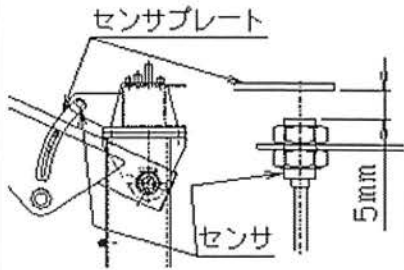
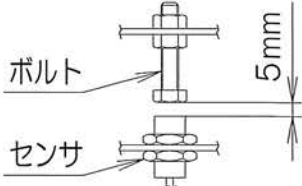
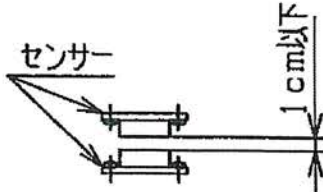
ケンインカン
76112-2470-001

ペール左
57108-4161-000

エラー表示	エラー内容	センサ番号
グリップセンサイショウ	グリップカッタが検出できない	①
ジョウシテンセンサイショウ	上死点センサが検出できない	②
テイテンセンサイショウ	定点センサが検出できない	③
ハナシセンサイショウ	フィルム離しセンサが検出できない	④
マエセンサイショウ	回転前センサが検出できない	⑤
ウシロセンサイショウ	回転後センサが検出できない	⑥

エラー表示	診断	処置	参照ページ
「グリップセンサイショウ」 作業開始時または 作業中に上記エラーになる	●グリップカッタセンサが働いていません (センサ番号①・グリップカッタ左 グリップカッタ右) ①グリップカッタに何かはさまって 下がらないようになっていませんか？ ②グリップカッタセンサのすきまが 広がっていませんか？ 位置がずれていませんか？	●はさまっている物を取り除いてください ●すきま及び位置を下図のように調整してください センサー 1 cm以下	— —

自動運転時のエラーチェック

エラー表示	診断	処置	参照ページ
「ジョウシテンセンサイジョウ」 全自動作業時に リフトアームが上がった後、 またはロールを放出した後に 上記エラーになる	●リフトアームのジョウシテンセンサが働いていません (センサ番号②・上死点センサ) ①センサプレートがジョウシテンセンサの反応する位置に調整されていますか？	●センサプレートとジョウシテンセンサの位置を下図のように調整してください 	-
「テイテンセンサイジョウ」 ・全自動作業にてロール積込み時にリフトアームが作業位置で停止せずエラーとなる ・半自動作業にてロール積込み時にリフトアームを作業位置にセットしても巻付開始ができない	●リフトアームのテイテンセンサが働いていません (センサ番号③・定点センサ) ①テイテンセンサとボルトのすきまが離れていませんか？	●ボルトの高さを下図のように調整してください 	17
「マエセンサイジョウ」 「ウシロセンサイジョウ」 「ハナシセンサイジョウ」 ラップ作業中にストレッチアームが停止しエラーとなる	●ストレッチアーム支点部のマエセンサ・ウシロセンサ・ハナシセンサが働いていません (センサ番号④～⑥・フィルム離しセンサ 回転前センサ 回転後センサ) ①センサのすきまが広がっていませんか？	●すきま及び位置を調整してください 	-
上記対応を行ってもエラーが解除されない	●センサの破損及びコードの断線はありませんか？	●修理してください	-

この項にしたがって、再度点検されても直らないときには販売店にお問い合わせください。

付 表

1. 主要諸元

型 式	WM1630AX (T)	WM1630AXW (T)
名 称	フルオートラップマシン	
装 着 方 法	2Pリンケージ けん引式 カテゴリⅡ	
駆 動 方 法	トラクタ油圧 (複動1系統)	
適 応 ト ラ ク タ	29.4～88.3kW (40～120ps)	
機 体 寸 法	全 長	5,400mm (最小時)
	全 幅	2,510mm (移動時) 4,450mm (作業時)
	全 高	2,750mm
質 量	1,400kg	1,450kg
タ イ ヤ サ イ ズ	22×10.00-10 12PR	
適用ベールサイズ	巾123cm × 径φ120cm～φ160cm	
使用可能フィルム	巾50cm × 長さ1,800m、巾75cm × 長さ1,500m	
フィルム重ね率	2重または、その倍数 (4重・6重)	
作 業 能 率	ベール数 40～55/h	

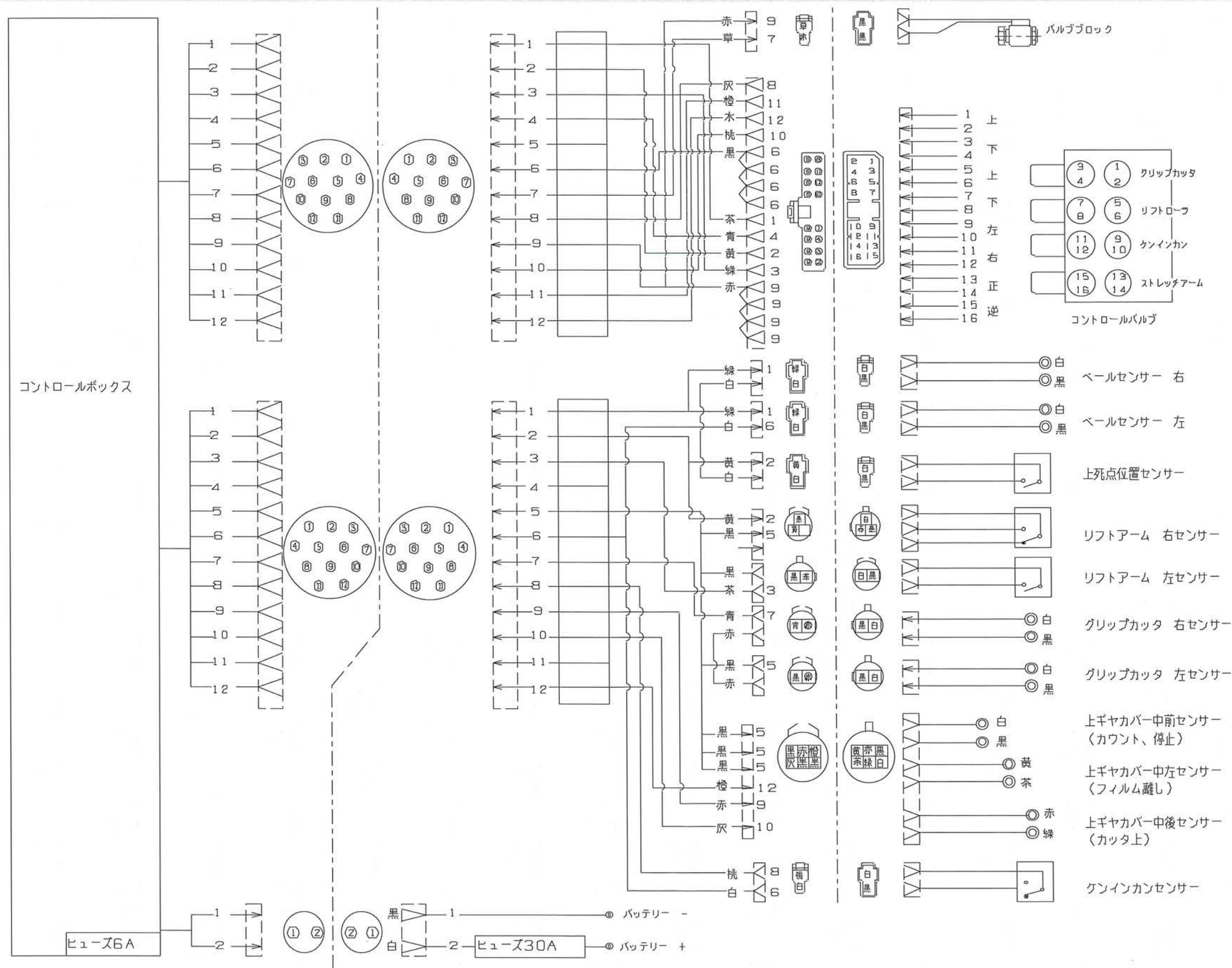
※この主要諸元は、改良などにより予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

品名	部品コード	備考
シェアボルト	01158 0080 35A	M8×35 (8T) 10本セット
ナイフ	57107 5555 000	
ヒューズ 6A	00900 0100 060	コントロールボックス用
ヒューズ 30A	00900 0100 300	電源コード用

付表

3. 配線図



付 表

4. 油圧回路図

